

# 時の話題

## 血液の話題(9)

### — 動脈硬化を予知する 脳血管障害 —

医療法人 幸良会 シーピーシークリニック  
武 元 良 整

動脈硬化の行き先は冠動脈疾患と脳血管障害。前回の冠動脈疾患に引き続いて、今回は脳血管障害との関連が明らかにされた血液検査の話題を取り上げます。

虚血性脳卒中発病リスクが高い人を見つける炎症マーカー

今回紹介するのは(文献1) Lipoprotein-associated phospholipase A<sub>2</sub>(Lp-PLA<sub>2</sub>)です。これはマクロファージから分泌される proinflammatory enzyme です。以下に要約を述べます。

目的：Lp-PLA<sub>2</sub>と高感度C-reactive protein(CRP)の両者を用いて虚血性脳卒中発症との関連を調査

方法：Atherosclerosis Risk in Communities(ARIC)試験に参加した健康な中年男女12,762人を約6年間追跡調査。

結果：年齢、性別そして人種を合致させた群で比較した。その中の、脳卒中発症の194人と脳卒中をおこさなかった766人を比較。

Lp-PLA<sub>2</sub>とCRPの両者ともに高い群と低い群との比較では hazard ratio が2.23。高値群は脳卒中を起こしやすい。

CRPが0.3mg hazard ratio が2.7。CRP高値は脳卒中を起こしやすい事が証明された。脳卒中群と非脳卒中群でLDLコレステロール値に差は認められなかった。

結論：Lp-PLA<sub>2</sub>とCRP値は中年の脳卒中の危険因子である。

### J-LIT脳血管疾患

すでに、虚血性心疾患の発病リスクを低下させるには血清脂質低下療法が良いことが明らかにされています。では、虚血性脳卒中も予防できるでしょうか？脳血管障害の1次予防サブ解析の結果が報告されました(文献2)。以下に紹介します。

日本人の脳血管疾患1次予防における血清脂質値とイベント発生率との関係を検討。対象はJ-LIT登録症例52,421例のうち、脳血管疾患やその他の既往を有する例を除いた30,832例を6年間追跡。J-LIT(日本脂質介入試験)とはシンバスタチン5mgから10mg/日投与された日本人男女の高コレステロール血症の約5万人を6年間追跡した大規模臨床調査です(文献3)。まず、図1のようにTC(総コレステロール)、LDL-CそしてTG(トリグリセライド)は登録時からTC値が18%、LDL-C値は27%そしてTG値が16%低下しました。

図2のように登録時のHDL-C(HDL-cholesterol)が投与前に低値であればあるほど高い改善効果がみられました。

次に、以上の試験期間中に242例が脳梗塞を発病。その率は1.09人/1000例/年でした。

久山町研究(図3は文献4から改変)によると1988年から1996年の脳梗塞発病頻度

## 時の話題

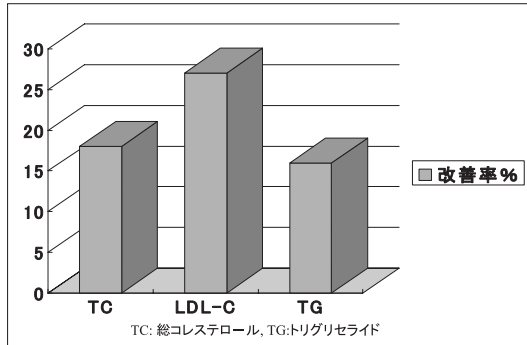


図1. 脂肪改善率 (J-LIT)

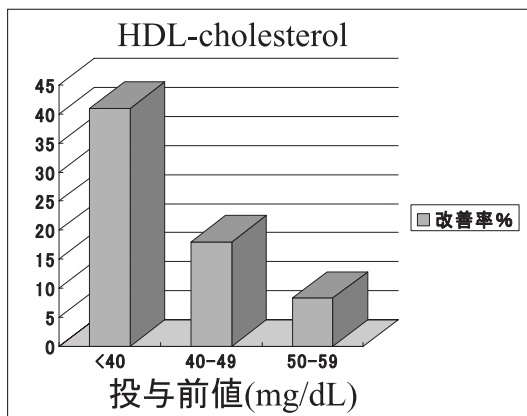


図2. 脂肪改善率 (J-LIT)

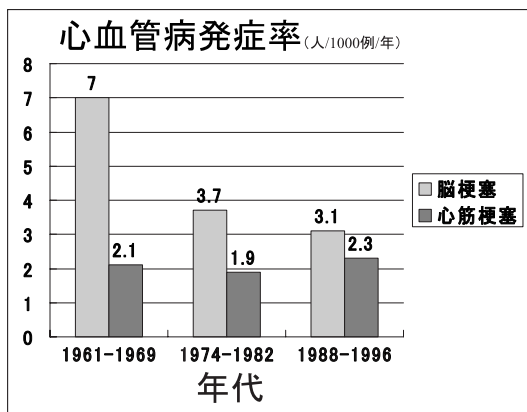


図3. 久山町研究

が3.1人/1000例/年と報告されています。以上の結果から、同じ集団の比較ではありませんが、血清脂質低下療法は脳梗塞発病抑制の可能性があると考えられます。

## MEGA-Study 脳血管疾患

前回紹介した MEGA Study ではどうでしょうか？食事療法＋プラバスタチン併用群は、食事療法単独群よりも冠動脈疾患＋脳梗塞発病のリスクが30%低下しています(文献5)。以上から、血清脂質低下療法は脳梗塞に対しての一定の予防効果が期待できます。

厚生省の統計によると平成16年の脳血管障害による全国死亡者数は12万9055人で死亡率第3位です。健全な老後のためにも、まず、発病頻度を減らすという予防医学の必要性はがんの領域ばかりでなく、すべての疾病予防に求められています。

## 文献

1. Ballantyne CM et al. Lipoprotein-associated phospholipase A2, high sensitivity C-reactive protein, and risk for incident ischemic stroke in middle-aged men and women in the atherosclerosis risk in communities (ARIC) study. Arch Intern Med 2005;165:2479-2483.
2. Nakaya N et al Large-scale cohort study on the relationship between serum lipid concentrations and risk of cerebrovascular disease under low-dose simvastatin in Japanese patients with hypercholesterolemia -Subanalysis of the Japan Lipid Intervention Trial (J-LIT). Circ J 2005;69:1016-1021.
3. 松澤 佑次 他 日本脂質介入試験 (J-LIT) の調査計画および登録した高脂血症患者52,000例の背景因子の検討-全国多施設共同の6年間追跡調査-臨床医薬 1994;10:1437-1456
4. 藤島正敏 高齢者の心血管病-久山町研究から-日老医誌 1999;36:16-21
5. 中村治雄 Plenary session, Late-breaking trials IV, AHA2005, Dallas.